食料・農業・農村基本計画（令和２年３月）の目指す姿（食料の安定供給の確保）

変化する国内外の情勢やマーケットに多彩に適応しつつ、新たな輸出目標（2030年までに５兆円）の下で需要を拡大するとともに、
安全・安心な食を安定的に供給し、我が国の食料安全保障の確立を図る。

新たな価値の創出による需要の開拓

新たな市場創出に向けた取組

健康志向や高齢化等の食をめぐる市場変化に対応。

介護食品

スマート育種

フードテック

食品産業の競争力の強化

食品流通の合理化
労働力不足への対応

規格・認証の活用

環境問題への対応

食品ロス削減

プラスチックごみ対応

需要に応じた新たなバリューチェーンの創出

6次産業化の取組の発展

消費者と食・農のつながりの深化

食育や地産地消の推進と国産農産物の消費拡大

消費者と農業者・食品関連事業者との交流

「日本型食生活」の展開

学校や病院等施設の給食における地場産食材の活用・地産地消の推進

和食文化の保護・継承

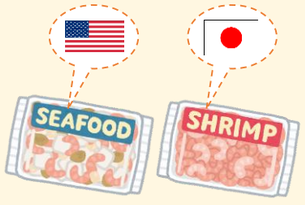
次世代に和食文化を継承するための取組推進

消費者と生産者の関係強化

ECサイトやSNSの活用

国際的な動向等に対応した食品の安全確保と消費者の信頼確保

- **科学の進展等を踏まえた食品の安全確保の取組強化**
- **食品表示情報の充実など食品に対する消費者の信頼確保**



【国内の情勢変化】

人口は高齢化・減少。食料支出は加工向けが増加する見通し。

人口
1.3 億→ 1.0億
(2019)　(2050)

食料支出の構成割合

	2000	2015	2030
生鮮	33%	27%	23%
加工	45%	52%	56%
外食	22%	21%	20%

【海外の情勢変化】

人口は増加、世界の飲食料市場規模は増加の見通し。

人口
77億 → 97億
(2017)　(2050)

世界の飲食料市場規模

2015	2030
890兆円	1,360兆円

グローバルマーケットの戦略的な開拓

農林水産物・食品の輸出促進

➢ 輸出環境の整備

- 輸出促進を担う司令塔組織の創設
- GFPを通じたグローバル産地づくり

GFP 農林水産物・食品輸出プロジェクト

輸出向け産地づくり

➢ 海外への商流構築、プロモーションの促進

SAVOR JAPAN Explore Regional Flavors

訪日外国人向けに多様なストーリーと結び付けた食の情報発信

JFOODO

プロモーション強化、市場開拓支援

➢ 食産業の海外展開の促進

- グローバル・フードバリューチェーン
- 生産者の所得向上に繋がる海外需要の獲得

知的財産の保護・活用

JAPAN GEOGRAPHICAL INDICATION 日本 地理的表示 GI

- 地理的表示（GI）保護制度の推進
- 優良な植物新品種の保護強化
- 家畜遺伝資源保護強化

食料供給のリスクを見据えた総合的な食料安全保障の確立

不測時に備えた平素からの取組

- 農産物の供給に影響を与えるリスクの分析、対応策の検討
- 家庭備蓄の重要性の普及啓発

国際的な食料需給の把握・分析

- 世界の穀物の需給動向の把握、情報発信
- 新たな感染症リスクへの調査・分析

輸入穀物等の安定的確保

国際協力の推進

- 途上国の農業生産、食品安全の技術協力
- 東アジア地域における食料安全保障強化

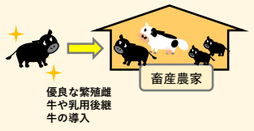
APTERR

動植物防疫措置の強化

- CSF(豚熱)、ASF(アフリカ豚熱)など、動植物検疫措置の強化

TPP等新たな国際環境への対応 今後の国際交渉への戦略的な対応

- TPP11、日EU・EPA、日米貿易協定を受けた、「TPP等関連政策大綱」に基づく対策の実施



- 今後の貿易交渉においても、我が国の農産品のセンシティビティに配慮しつつ、輸出拡大につながるよう目指す